

在宅医療・介護連携に関する施設調査 ご協力をお願い

平素より、在宅医療・介護連携の推進にご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

大阪市では、市民が高齢期においても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、介護保険法に基づく「在宅医療・介護連携推進事業」を実施しております。

このたび、日ごろより在宅医療にご尽力いただいております皆様のご意見をお聞かせいただき、在宅医療と介護の連携における課題や多職種間の連携を図るための基礎資料及び評価指標を得ることで、今後の取り組みに活かしていけるよう、調査を実施させていただくこといたしました。

ご協力いただいた調査の内容は、全て統計的な数値として取りまとめたくえ、現状・課題分析等のみに活用し、個別の機関や個人に関する内容を公表することは一切ございません。

関係機関の皆様におかれましては、ご多忙の中大変恐縮ではありますが、本調査の主旨をご理解いただき、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、本調査については、(株)富士通総研に委託して実施しております。

平成 30 年 2 月

(調査実施主体) 大阪市健康局

健康推進部健康施策課

電話：06-6208-9940

(1) 調査票について

・本調査票は、大阪市内の全ての病院にお送りしております。

・調査票は【施設票】と【個人票】の2種類あります。

施設票...地域医療連携室等において主として地域連携を担当されている方が施設としての状況や意向等をご回答ください。特に退院調整に関する設問については、貴院の退院調整部門の事情を十分に把握されている方(責任者等)がご記入ください

個人票...地域連携を担当されている方が個人としての主観をご回答ください。

(2) ご回答について

・設問をお読みいただき、選択肢の中であてはまる番号に をつけてください。

・設問によっては数値をご記入ください。

・必要に応じて自由記述欄()にもご記入をお願いいたします。

(3) 返信方法について

・FAX、Web、郵送、のいずれかの方法でお送りください(裏面にそれぞれの提出方法を記載しております)

・特に断りのない場合は、平成 30 年 2 月 1 日現在の状況についてお答え下さい。

・ご回答は、郵送の場合は平成 30 年 3 月 7 日(水)までにポストに投函を、FAX 及び Web の場合は平成 30 年 3 月 9 日(金)23 時 59 分までに送信・入力をいただきますようお願いいたします。

1. FAX で回答する方法

調査票に回答をご記入頂き、以下の番号までお送りください

【 03-5401-8402 (受信専用 FAX) 】

2. Web で回答する方法

以下の URL にアクセス頂き、案内に添って各設問にご回答ください

【 <http://www.zaitakuosaka.jp> 】

TOP 画面で施設の種類を選択してください

最初に、同封の調査票の右上に記載されている 6 桁の番号を入力ください(関係者外の回答防止のため)

回答内容の途中保存はできませんので予めご了承ください

3. 郵送で回答する方法

調査票に回答をご記入頂き、同封の返信用封筒にてご郵送ください

切手を貼らずにそのままご投函ください

< 本調査に関するお問合せ先 >

調査票の内容について 株式会社 富士通総研(本調査受託事業者) 担当 赤田

電子メール: akada.keigo@jp.fujitsu.com

電話: 03-5401-8416 (専用ダイヤル)

FAX: 03-5401-8402 (専用 FAX)

在宅医療・介護連携推進事業調査【病院 -施設票-】

地域連携を担当されている方がご回答下さい

問1. 貴施設の基本情報についてお伺いします。

標ぼう診療科 【該当するもの全てに】	1 内科 5 整形外科 9 皮膚科 13 リハビリテーション科	2 消化器内科・消化器科 6 小児科 10 泌尿器科 14 アレルギー科	3 循環器内科・循環器科 7 眼科 11 精神科 15 リウマチ科	4 外科 8 耳鼻いんこう科 12 心療内科 16 その他()
施設の開設主体 (母体) 【1つに】	1 国・公立・公的・社会保険関係団体(独立行政法人含む) 2 医療法人(社会医療法人含む) 3 社団法人・財団法人 4 社会福祉法人 5 協同組合 6 個人 7 その他()			
貴施設に併設する施設 【該当するもの全てに】	1 病院 2 診療所 3 訪問看護ステーション 4 居宅サービス事業所 5 地域密着型サービス事業所 6 施設・居住系サービス事業所 7 居宅介護支援事業所 8 その他() 9 併設なし			
退院支援加算の届出状況 【1つに】	1 退院支援加算1 2 退院支援加算2 3 退院支援加算3 4 届出をしていない			

問2. 在宅医療の提供実績及び退院の状況についてお伺いします。

平成30年1月の1ヶ月間の診療等の実績 【数値を記入】 いずれも加算算定に関わらず記入 0人の場合は0を記入	訪問診療及び往診を実施した実人数	_____人
	訪問看護を実施した実人数	_____人
	医師により居宅療養管理指導を算定した人数	_____人
	医師により在宅での看取りを実施した人数	_____人
平成30年1月の1ヶ月間の退院患者の実績 【数値を記入】 0人の場合は0を記入	実退院患者数	_____人
	うち、退院調整を実施した患者数(加算関係なく)	_____人
	うち、在宅医療へ移行した患者数	_____人
	うち、死亡退院患者数	_____人

在宅医療・介護連携推進事業調査【病院 -施設票-】

地域連携を担当されている方がご回答下さい

問3. 在宅医療の推進についてお伺いします。

(1) 貴施設は、**地域の在宅医療の推進** に対して、どのくらい貢献できていると思いますか。

【地域全体を想定してあてはまると思われるもの1つに】	1.貢献できている	2.やや貢献できている	3.あまり貢献できていない	4.貢献できていない
	1	2	3	4

(2) 在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えることについてお伺いします。

【必要性の高いものから順に3つまで】	1 関係機関のリスト・連絡先等の提供 2 現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場 3 連携で困ったときに相談できる窓口 4 各施設・職種の役割について理解を深める機会 5 介護側のための医療知識の習得・向上の機会 6 医療側のための介護知識の習得・向上の機会 7 情報共有ツール(シート等)の統一 8 在宅医療にかかる負担の軽減(主治医・副主治医の導入など) 9 在宅医療にかかる施設基準の緩和 10 診療報酬・介護報酬の評価(増額) 11 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発 12 その他() 13 特になし
--------------------	--

(3) 地域の在宅医療の推進への今後の意向についてお伺いします。

在宅医療の取り組みに関する今後の意向 【1つに】	1 現在の取り組みを当面維持していきたい 2 現在より充実していきたい 3 現在より縮小していきたい 4 現在は取り組んでおらず今後も予定はない 5 その他()
-----------------------------	---

問4. 退院前カンファレンスなどの状況についてお伺いします。

(1) 貴施設における地域連携の体制等について

貴施設における地域連携のための部署の有無 【1つ】	1 地域連携のための部署を設置している					
	2 地域連携のための部署は設置していないが担当者を予め決めて 3 地域連携のための部署は設置しておらず担当者も特に決めていない 4 その他()					
貴施設における地域連携(退院支援)を担当する職員の職種・人数(専任・兼任の別) 職種に関しては主なもの一つ選択してください。 部署がない場合にも、退院支援の従事者数をお書きください。	専任					
	兼任					

在宅医療・介護連携推進事業調査【病院 -施設票-】

地域連携を担当されている方がご回答下さい

退院前カンファレンスにおける、各職種への出席要請に関する方針(退院予定の患者が在宅での療養に在宅サービスを利用する必要がある場合に開催するもの)	1.基本的に出席を求めている	2.ケースによっては出席を求めていることがある	3.殆ど出席を求めている	
[それぞれ1～3の中から あてはまる数字1つ]	院内の医師	1	2	3
	院内の看護師	1	2	3
	ケアマネジャー	1	2	3
	在宅移行先の医師	1	2	3
	在宅移行先の歯科医師	1	2	3
	訪問看護師	1	2	3
	地域包括支援センター	1	2	3
その他()	1	2	3	
退院前カンファレンス開催にあたり特に課題となっていること [該当の数字全てに]	1 カンファレンスの準備のための十分な時間の確保が難しい 2 院内の関係者との日程調整が困難 3 院内の関係者に必要性を認識してもらえない 4 退院後の在宅関係者との日程調整が困難 5 退院後の在宅関係者に必要性を認識してもらえない 6 退院後の在宅関係者の連絡先が分からない 7 その他()			

(2) ケアマネジャーからのサービス担当者会議への出席要請有無及び対応について

ケアマネジャーからのサービス担当者会議への出席要請有無及び対応 [1つに]	(これまで要請されたことがある)			(これまで要請されたことがない)		
	1.基本的に出席している	2.ケースによっては出席している	3.出席は困難である	4.要請されれば基本的に出席したい	5.要請されればケースによっては出席したい	6.要請されても出席は困難である
	1	2	3	4	5	6

(3) 多職種連携研修会への参加状況について

市や医師会等開催の在宅医療・介護の多職種の研修会等への参加の有無 [1つに] 平成 29 年1月～12 月の1年間	1 参加したことがある (回数もご回答下さい)	a. 1～5 回 b. 6～9 回 c. 10 回以上
介護職を含めた、地域での自主的な研修会等の取り組みの有無 [1つに] 平成 29 年1月～12 月の1年間の状況	2 参加したことはないが、これまで参加を検討したことはある 3 参加したことはない・知らない	回 / 年 a. 今後予定がある・検討したい b. 今後開催の予定はない

(4) 貴施設は、地域の他職種・他機関と、全般的に、どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。

[地域全体を想定してあてはまると思われるもの1つに]	1.連携できている	2.やや連携できている	3.あまり連携できていない	4.連携できていない
	1	2	3	4

在宅医療・介護連携推進事業調査【病院 -施設票-】

地域連携を担当されている方がご回答下さい

(5) 貴施設は、地域の他職種・他機関と、それぞれ、どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。

[地域全体を想定してあてはまると思われるもの1つに]	1.連携できている	2.やや連携できている	3.あまり連携できていない	4.連携できていない
	1	2	3	4
他の病院の医師・看護師	1	2	3	4
他の病院の地域連携室	1	2	3	4
診療所・医師	1	2	3	4
歯科診療所・歯科医師	1	2	3	4
保険薬局・薬剤師	1	2	3	4
訪問看護事業所・訪問看護師	1	2	3	4
居宅介護支援事業所・ケアマネジャー	1	2	3	4
訪問介護事業所・ヘルパー	1	2	3	4

(6) 貴施設は、患者の在宅療養における各場面において、地域の他職種・他機関とどのくらい各種情報についての意見交換・共有ができていますか。

[地域全体を想定してあてはまると思われるもの1つに]	1.共有等できている	2.やや共有等できている	3.あまり共有等できていない	4.共有等できていない
	1	2	3	4
入院時における入院患者の情報	1	2	3	4
退院時における退院患者の情報	1	2	3	4
日常生活(在宅)療養時の患者の医療情報	1	2	3	4
日常生活(在宅)療養時の患者の生活情報	1	2	3	4
患者の緊急時の対応方針	1	2	3	4
看取りについての対応方針	1	2	3	4

問5 大阪市「在宅医療・介護連携相談支援室」についてお伺いします。

連携相談支援室についての認知と利用実績 [1つに]	1 知っており、実際に相談・連携をしたことがある 2 知っているが、実際に相談・連携をしたことはない 3 知らなかったが、今後は相談・連携したいと思う 4 知らなかったし、今後も相談・連携はしないと思う
-------------------------------	--

大阪市では、各区に地区医師会等への委託により、医療・介護関係者からの相談等に応じるため、在宅医療・介護連携支援コーディネーターを配置した「在宅医療・介護連携相談支援室」を設置しています。
(詳細については同封のチラシをご覧ください)

問6 大阪市の在宅医療・介護の連携上の課題や推進に関するご意見がありましたらご記入頂きますようお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

在宅医療・介護連携推進事業調査【病院 -個人票-】
 地域連携を担当されている方が 個人の主観として、ご回答下さい

(1)あなたご自身の職種【1つに】		(2)あなたご自身の地域連携の通算経験年数				
1 医療ソーシャルワーカー 2 看護師 3 事務員 4 その他		およそ _____ 年				
(3)あなたは、ご自身の仕事に満足感を感じていますか。 【1つに】		1.感じて いる	2.やや 感じている	3.あまり 感じていない	4.感じて いない	
		1	2	3	4	
(4)あなたは、地域の他職種・他機関と、どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。【1つに】		1.連携 できている	2.やや連携 できている	3.あまり連携 できていない	4.連携 できていない	
		1	2	3	4	
(5)あなたが職務を行う地域での状況についての質問です。あなたご自身について、最もあてはまるもの1つをつけて下さい。		1.そう 思わない	2.あまり そう 思わない	3.どちら でも ない	4.少し そう 思う	5.そう 思う
他の施設の 関係者とやりとり	患者(利用者)と一緒にみている他の施設の関係者に知りたいことを気軽にきける	1	2	3	4	5
	一緒にみている患者(利用者)のことで連絡をとるときに、躊躇(ちゅうちよ)せずに連絡ができる	1	2	3	4	5
	一緒にみている患者(利用者)のことで連絡のとりやすい時間や方法が分かる	1	2	3	4	5
地域の他の 職種の 役割	患者(利用者)に関わる地域の他の職種の困っていることがだいたいわかる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)に関わる自分以外の職種の動き方が実感をもってわかる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)に関わる自分以外の職種の出来ることがわかる	1	2	3	4	5
地域の関係者の名前と顔・考え方	地域で患者(利用者)に関わっている人の、名前と顔、考え方や方針がわかる	1	2	3	4	5
	地域で患者(利用者)に関わっている施設の理念や事情がわかる	1	2	3	4	5
	地域で患者(利用者)に関わっている人の、性格、つきあい方がわかる	1	2	3	4	5
地域の多職種で話し合う機会	患者(利用者)に関わるいろいろな職種が直接会って話す機会がある	1	2	3	4	5
	普段交流のない多職種で話し、新しい視点や知り合いを得る機会がある	1	2	3	4	5
地域の相談できるネットワーク	地域連携に関して、課題や困っていることを共有し話し合う機会がある	1	2	3	4	5
	患者(利用者)に関わることで、気軽に相談できる人がいる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)に関わることで困ったことは、誰に聞けばいいのかだいたいわかる	1	2	3	4	5
地域のリソース(資源)	患者(利用者)に関わることで困ったときには、まず電話してみようと思う人がいる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)が利用できる地域の介護サービスがわかる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)が利用できる地域の医療資源やサービスがわかる	1	2	3	4	5
病院と地域の連携	利用できる地域の医療資源やサービスについて具体的に患者(利用者)や家族に説明できる	1	2	3	4	5
	退院や入院のときに、相手がどんな情報を必要としているかを考えて申し送りをしたり、情報提供を行ったりしている	1	2	3	4	5
	在宅(施設)に移行する患者(利用者)については、退院時にカンファレンスや情報共有をしっかりと行っている	1	2	3	4	5
	⑦ 退院する患者(利用者)について、急に容体が変わったときの対応や連絡先を決めている	1	2	3	4	5

福井小紀子(大阪大学) 在宅医療介護従事者における顔の見える関係評価尺度の適切性の検討. 日本在宅医学会誌. 16(1). 5-11.2014.

在宅医療・介護連携に関する施設調査 ご協力をお願い

平素より、在宅医療・介護連携の推進にご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

大阪市では、市民が高齢期においても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、介護保険法に基づく「在宅医療・介護連携推進事業」を実施しております。

このたび、日ごろより在宅医療にご尽力いただいております皆様のご意見をお聞かせいただき、在宅医療と介護の連携における課題や多職種間の連携を図るための基礎資料及び評価指標を得ることで、今後の取り組みに活かしていけるよう、調査を実施させていただくことといたしました。

ご協力いただいた調査の内容は、全て統計的な数値として取りまとめたくえ、現状・課題分析等のみに活用し、個別の機関や個人に関する内容を公表することは一切ございません。

関係機関の皆様におかれましては、ご多忙の中大変恐縮ではありますが、本調査の主旨をご理解いただき、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、本調査については、(株)富士通総研に委託して実施しております。

平成 30 年 2 月

(調査実施主体) 大阪市健康局

健康推進部健康施策課

電話：06-6208-9940

(1) 調査票について

・本調査票は、大阪市内の全ての在宅療養支援診療所にお送りしております。

・調査票は【施設票】と【個人票】の2種類あります。

施設票…管理者の方が施設としての状況や意向等をご回答ください。

個人票…管理者(管理者が在宅医療に従事していない場合は在宅医療に従事している他の医師の方)が個人としての主観をご回答ください。

(2) ご回答について

・設問をお読みいただき、選択肢の中であてはまる番号に をつけてください。

・設問によっては数値をご記入ください。

・必要に応じて自由記述欄()にもご記入をお願いいたします。

(3) 返信方法について

・FAX、Web、郵送、のいずれかの方法でお送りください(裏面にそれぞれの提出方法を記載しております)

・特に断りのない場合は、平成 30 年 2 月 1 日現在の状況についてお答え下さい。

・ご回答は、郵送の場合は平成 30 年 3 月 7 日(水)までにポストに投函を、FAX 及び Web の場合は平成 30 年 3 月 9 日(金)23 時 59 分までに送信・入力をいただきますようお願いいたします。

1. FAX で回答する方法

調査票に回答をご記入頂き、以下の番号までお送りください

【 03-5401-8402 (受信専用 FAX) 】

2. Web で回答する方法

以下の URL にアクセス頂き、案内に添って各設問にご回答ください

【 <http://www.zaitakuosaka.jp> 】

TOP 画面で施設の種類を選択してください

最初に、同封の調査票の右上に記載されている 6 桁の番号を入力ください(関係者外の回答防止のため)

回答内容の途中保存はできませんので予めご了承ください

3. 郵送で回答する方法

調査票に回答をご記入頂き、同封の返信用封筒にてご郵送ください

切手を貼らずにそのままご投函ください

< 本調査に関するお問合せ先 >

調査票の内容について 株式会社 富士通総研(本調査受託事業者) 担当 赤田

電子メール: akada.keigo@jp.fujitsu.com

電話: 03-5401-8416 (専用ダイヤル)

FAX: 03-5401-8402 (専用 FAX)

在宅医療・介護連携推進事業調査【在宅療養支援診療所 -施設票-】

管理者の方がご回答下さい

問1. 貴施設の基本情報についてお伺いします。

標ぼう診療科 【該当するもの全てに 】	1 内科 5 整形外科 9 皮膚科 13 リハビリテーション科	2 消化器内科・消化器科 6 小児科 10 泌尿器科 14 アレルギー科	3 循環器内科・循環器科 7 眼科 11 精神科 15 リウマチ科	4 外科 8 耳鼻いんこう科 12 心療内科 16 その他()
右の職種別職員数 (併設の訪問看護ステーションを除く) 【数値を記入】	看護師(保健師・助産師・准看護師含む)	常勤 _____人	非常勤 _____人	
	OT・PT・ST	常勤 _____人	非常勤 _____人	
施設の開設主体 (母体) 【1つに 】	1 国・公立・公的・社会保険関係団体(独立行政法人含む) 2 医療法人(社会医療法人含む) 3 社団法人・財団法人 4 社会福祉法人 5 協同組合 6 個人 7 その他()			
貴施設に併設する施設 【該当するもの全てに 】	1 病院 2 診療所 3 訪問看護ステーション 4 居宅サービス事業所 5 地域密着型サービス事業所 6 施設・居住系サービス事業所 7 居宅介護支援事業所 8 その他() 9 併設なし			
在宅療養支援診療所の届出をされた理由 【該当の数字全てに 】	1 診療報酬の制度ができる前から進んで在宅医療に取り組んできた 2 患者に訪問診療を要する者がいた 3 患者から訪問診療を望まれた 4 今後、在宅医療の一層の強化が必要となると考えた 5 訪問診療を行うにあたり診療報酬上有利であると考えた 6 今後の在宅医療の取り組みに備えて予め届出をした 7 その他()			

問2. 在宅医療の提供実績についてお伺いします。

平成30年1月の1ヶ月間の実績【数値を記入】 いずれも加算算定に関わらず記入 0人の場合は0を記入	訪問診療及び往診を実施した実人数	_____人
	医師による居宅療養管理指導を算定した人数	_____人

問3. 在宅医療の推進についてお伺いします。

(1) 貴施設は、**地域の在宅医療の推進** に対して、どのくらい貢献できていると思いますか。

【地域全体を想定してあてはまると思われるもの1つに 】	1. 貢献できている	2. やや貢献できている	3. あまり貢献できていない	4. 貢献できていない
	1	2	3	4

【在宅療養支援診療所 -施設票-】

在宅医療・介護連携推進事業調査【在宅療養支援診療所 -施設票-】

管理者の方がご回答下さい

(2) 在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えることについてお伺いします。

【必要性の高いものから順に3つまで 】	1 関係機関のリスト・連絡先等の提供 2 現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場 3 連携で困ったときに相談できる窓口 4 各施設・職種の役割について理解を深める機会 5 介護側のための医療知識の習得・向上の機会 6 医療側のための介護知識の習得・向上の機会 7 情報共有ツール(シート等)の統一 8 在宅医療にかかる負担の軽減(主治医・副主治医の導入など) 9 在宅医療にかかる施設基準の緩和 10 診療報酬・介護報酬の評価(増額) 11 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発 12 その他() 13 特になし
---------------------	--

(3) 地域の在宅医療の推進への今後の意向についてお伺いします。

在宅医療の取り組みに関する今後の意向 【1つに 】	1 現在の取り組みを当面維持していきたい 2 現在より充実していきたい 3 現在より縮小していきたい 4 現在は取り組んでおらず今後も予定はない 5 その他()
------------------------------	---

問4. 在宅医療の提供状況及び連携状況等についてお伺いします。

(1) 貴施設における退院前カンファレンスなどの状況について。

	(これまで要請されたことがある)			(これまで要請されたことがない)		
	1. 基本的に出席している	2. ケースによっては出席している	3. 出席は困難である	4. 要請されれば基本的には出席したい	5. 要請されればケースによっては出席したい	6. 要請されても出席は困難である
病院からの退院前カンファレンスへの出席要請有無(退院予定の患者が在宅での療養に在宅サービスを利用する必要のある場合に開催するもの)【1つに 】	1	2	3	4	5	6
ケアマネジャーからのサービス担当者会議への出席要請有無及び対応【1つに 】	1	2	3	4	5	6
市や医師会等開催の在宅医療・介護の多職種研修会等への参加の有無【1つに 】	1 参加したことがある(回数もご回答下さい)			a. 1~5回 b. 6~9回 c. 10回以上		
平成29年1月~12月の1年間	2 参加したことはないが、これまで参加を検討したことはある 3 参加したことはない・知らない					

(2) 貴施設は、地域の他職種・他機関と、**全般的に**、どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。

【地域全体を想定してあてはまると思われるもの1つに 】	1. 連携できている	2. やや連携できている	3. あまり連携できていない	4. 連携できていない
	1	2	3	4

【在宅療養支援診療所 -施設票-】

在宅医療・介護連携推進事業調査【在宅療養支援診療所 -施設票-】

管理者の方がご回答下さい

(3) 貴施設は、地域の他職種・他機関と、それぞれ、どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。

【地域全体を想定してあてはまると思われるもの1つに】	1.連携できている	2.やや連携できている	3.あまり連携できていない	4.連携できていない
病院の医師・看護師	1	2	3	4
病院の地域連携室	1	2	3	4
他の診療所・医師	1	2	3	4
歯科診療所・歯科医師	1	2	3	4
保険薬局・薬剤師	1	2	3	4
訪問看護事業所・訪問看護師	1	2	3	4
居宅介護支援事業所・ケアマネジャー	1	2	3	4
訪問介護事業所・ヘルパー	1	2	3	4

(4) 貴施設は、患者の在宅療養における各場面において、地域の他職種・他機関とどのくらい各種情報についての意見交換・共有ができていますか。

【地域全体を想定してあてはまると思われるもの1つに】	1.共有できている	2.やや共有できている	3.あまり共有できていない	4.共有できていない
入院時における入院患者の情報	1	2	3	4
退院時における退院患者の情報	1	2	3	4
日常生活(在宅)療養時の患者の医療情報	1	2	3	4
日常生活(在宅)療養時の患者の生活情報	1	2	3	4
患者の緊急時の対応方針	1	2	3	4
看取りについての対応方針	1	2	3	4

問5. 大阪市「在宅医療・介護連携相談支援室」についてお伺いします。

連携相談支援室についての認知と利用実績【1つに】	1 知っており、実際に相談・連携をしたことがある 2 知っているが、実際に相談・連携をしたことはない 3 知らなかったが、今後は相談・連携したいと思う 4 知らなかったし、今後も相談・連携はしないと思う
--------------------------	--

大阪市では、各区に地区医師会等への委託により、医療・介護関係者からの相談等に応じるため、在宅医療・介護連携支援コーディネーターを配置した「在宅医療・介護連携相談支援室」を設置しています。(詳細については同封のチラシをご覧ください)

問6. 大阪市の在宅医療・介護の連携上の課題や推進に関するご意見がありましたらご記入頂きますようお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

(1) あなたご自身の立場【1つに】

(2) あなたご自身の在宅医療の通算経験年数

【在宅療養支援診療所 -施設票-】

在宅医療・介護連携推進事業調査【在宅療養支援診療所 -施設票-】

管理者の方がご回答下さい

1 管理者	2 管理者以外の従事者	およそ 年			
(3) あなたは、ご自身の仕事に満足感を感じていますか。【1つに】	1.感じて いる	2.やや 感じている	3.あまり 感じていない	4.感じて いない	
	1	2	3	4	
(4) あなたは、地域の他職種・他機関と、どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。【1つに】	1.連携 できている	2.やや連携 できている	3.あまり連携 できていない	4.連携 できていない	
	1	2	3	4	

(5) あなたが職務を行う地域での状況についての質問です。あなたご自身について、最もあてはまるもの1つに をつけて下さい。		1.そう 思わない	2.あまり そう 思わない	3.どち らでも ない	4.少し そう 思う	5.そう 思う
他の施設 の関係者 とやりとり	患者(利用者)と一緒にみている他の施設の関係者に知りたいことを気軽にきける	1	2	3	4	5
	一緒にみている患者(利用者)のことで連絡をとるときに、躊躇(ちゅうちよ)せずに連絡ができる	1	2	3	4	5
地域の他の 職種の 役割	一緒にみている患者(利用者)のことで連絡のとりにくい時間や方法が分かる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)に関わる地域の他の職種の困っていることがだいたいわかる	1	2	3	4	5
地域の関係者の 名前と顔・考 え方	患者(利用者)に関わる自分以外の職種の動き方が実感をもってわかる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)に関わる自分以外の職種の出来ることがわかる	1	2	3	4	5
地域の多 職種で話 し合う機 会	地域で患者(利用者)に関わっている人の、名前と顔、考え方や方針がわかる	1	2	3	4	5
	地域で患者(利用者)に関わっている施設の理念や事情がわかる	1	2	3	4	5
地域の相 談できる ネットワ ーク	地域で患者(利用者)に関わっている人の、性格、つきあい方がわかる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)に関わるいろいろな職種が直接会って話す機会がある	1	2	3	4	5
地域のリ ソース(資 源)	普段交流のない多職種で話し、新しい視点や知り合いを得る機会がある	1	2	3	4	5
	地域連携に関して、課題や困っていることを共有し話し合う機会がある	1	2	3	4	5
病院と地 域の連携	患者(利用者)に関わることで、気軽に相談できる人がいる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)に関わることで困ったことは、誰に聞けばいいのかわかる	1	2	3	4	5
①	患者(利用者)に関わることで困ったときには、まず電話してみようと思う人がいる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)が利用できる地域の介護サービスがわかる	1	2	3	4	5
②	患者(利用者)が利用できる地域の医療資源やサービスがわかる	1	2	3	4	5
	利用できる地域の医療資源やサービスについて具体的に患者(利用者)や家族に説明できる	1	2	3	4	5
③	退院や入院のときに、相手がどんな情報を必要としているかを考えて申し送りをしたり、情報提供を行ったりしている	1	2	3	4	5
	在宅(施設)に移行する患者(利用者)については、退院時にカンファレンスや情報共有をしっかりと行っている	1	2	3	4	5
④	退院する患者(利用者)について、急に容体が変わったときの対応や連絡先を決めている	1	2	3	4	5

福井小紀子(大阪大学) 在宅医療介護従事者における顔の見える関係評価尺度の適切性の検討. 日本在宅医学会誌. 16(1). 5-11.2014.

【在宅療養支援診療所 -施設票-】

在宅医療・介護連携に関する施設調査 ご協力をお願い

平素より、在宅医療・介護連携の推進にご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

大阪市では、市民が高齢期においても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、介護保険法に基づく「在宅医療・介護連携推進事業」を実施しております。

このたび、日ごろより在宅医療にご尽力いただいております皆様のご意見をお聞かせいただき、在宅医療と介護の連携における課題や多職種間の連携を図るための基礎資料及び評価指標を得ることで、今後の取り組みに活かしていけるよう、調査を実施させていただくことといたしました。

ご協力いただいた調査の内容は、全て統計的な数値として取りまとめたくえ、現状・課題分析等のみに活用し、個別の機関や個人に関する内容を公表することは一切ございません。

関係機関の皆様におかれましては、ご多忙の中大変恐縮ではありますが、本調査の主旨をご理解いただき、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、本調査については、(株)富士通総研に委託して実施しております。

平成 30 年 2 月

(調査実施主体) 大阪市健康局

健康推進部健康施策課

電話：06-6208-9940

(1) 調査票について

- ・本調査票は、大阪市内の全ての在宅療養支援歯科診療所にお送りしております。
- ・調査票は【施設票】と【個人票】の2種類あります。

施設票…管理者の方が施設としての状況や意向等をご回答ください。

個人票…管理者(管理者が在宅医療に従事していない場合は在宅医療に従事している他の歯科医師の方)が個人としての主観をご回答ください。

(2) ご回答について

- ・設問をお読みいただき、選択肢の中であてはまる番号に をつけてください。
- ・設問によっては数値をご記入ください。
- ・必要に応じて自由記述欄()にもご記入をお願いいたします。

(3) 返信方法について

- ・FAX、Web、郵送、のいずれかの方法でお送りください(裏面にそれぞれの提出方法を記載しております)
- ・特に断りのない場合は、平成 30 年 2 月 1 日現在の状況についてお答え下さい。
- ・ご回答は、郵送の場合は平成 30 年 3 月 7 日(水)までにポストに投函を、FAX 及び Web の場合は平成 30 年 3 月 9 日(金)23 時 59 分までに送信・入力をいただきますようお願いいたします。

1 . FAX で回答する方法

調査票に回答をご記入頂き、以下の番号までお送りください

【 03-5401-8402 (受信専用 FAX) 】

2 . Web で回答する方法

以下の URL にアクセス頂き、案内に添って各設問にご回答ください

【 <http://www.zaitakuosaka.jp> 】

TOP 画面で施設の種類を選択してください

最初に、同封の調査票の右上に記載されている 6 桁の番号を入力ください(関係者外の回答防止のため)

回答内容の途中保存はできませんので予めご了承ください

3 . 郵送で回答する方法

調査票に回答をご記入頂き、同封の返信用封筒にてご郵送ください

切手を貼らずにそのままご投函ください

< 本調査に関するお問合せ先 >

調査票の内容について 株式会社 富士通総研(本調査受託事業者) 担当 赤田

電子メール : akada.keigo@jp.fujitsu.com

電話 : 03-5401-8416 (専用ダイヤル)

FAX : 03-5401-8402 (専用 FAX)

在宅医療・介護連携推進事業調査【在宅療養支援歯科診療所 -施設票-】
管理者の方がご回答下さい

(1)あなたご自身の立場【1つに】		(2)あなたご自身の在宅医療の通算経験年数				
1 管理者	2 管理者以外の従事者	およそ 年				
(3)あなたは、ご自身の仕事に満足感を感じていますか。 【1つに】		1.感じて いる	2.やや 感じている	3.あまり 感じていない	4.感じて いない	
		1	2	3	4	
(4)あなたは、地域の他職種・他機関と、どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。【1つに】		1.連携 できている	2.やや連携 できている	3.あまり連携 できていない	4.連携 できていない	
		1	2	3	4	
(5)あなたが職務を行う地域での状況についての質問です。あなたご自身について、最もあてはまるもの1つに つけて下さい。		1.そう 思わない	2.あまり そう 思わない	3.どちら でも ない	4.少し そう 思う	5.そう 思う
他の施設 の関係者 とやりとり	患者(利用者)と一緒にみている他の施設の関係者に知りたいことを気軽にきける	1	2	3	4	5
	一緒にみている患者(利用者)のことで連絡をとるときに、躊躇(ちゅうちゆ)せずに連絡ができる	1	2	3	4	5
	一緒にみている患者(利用者)のことで連絡のとりやすい時間や方法が分かる	1	2	3	4	5
地域の他の 職種の 役割	患者(利用者)に関わる地域の他の職種の困っていることが知りたいわかる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)に関わる自分以外の職種の動き方が実感をもってわかる	1	2	3	4	5
地域の関係者の名前と顔・考え方	患者(利用者)に関わる自分以外の職種の出来ることわかる	1	2	3	4	5
	地域で患者(利用者)に関わっている人の、名前と顔、考え方や方針がわかる	1	2	3	4	5
	地域で患者(利用者)に関わっている施設の理念や事情がわかる	1	2	3	4	5
地域の多 職種で話し合う機会	地域で患者(利用者)に関わっている人の、性格、つきあい方がわかる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)に関わるいろいろな職種が直接会って話す機会がある	1	2	3	4	5
	普段交流のない多職種で話し、新しい視点や知り合いを得る機会がある	1	2	3	4	5
地域の相談できるネットワーク	地域連携に関して、課題や困っていることを共有し話し合う機会がある	1	2	3	4	5
	患者(利用者)に関わることで、気軽に相談できる人がいる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)に関わることで困ったことは、誰に聞けばいいのかわかると思っている人がいる	1	2	3	4	5
地域のリソース(資源)	患者(利用者)に関わることで困ったときには、まず電話してみようと思える人がいる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)が利用できる地域の介護サービスがわかる	1	2	3	4	5
	患者(利用者)が利用できる地域の医療資源やサービスがわかる	1	2	3	4	5
病院と地域の連携	利用できる地域の医療資源やサービスについて具体的に患者(利用者)や家族に説明できる	1	2	3	4	5
	退院や入院のときに、相手がどんな情報を必要としているかを考えて申し送りをしたり、情報提供を行ったりしている	1	2	3	4	5
	在宅(施設)に移行する患者(利用者)については、退院時にカンファレンスや情報共有をしっかりと行っている	1	2	3	4	5
	⑪ 退院する患者(利用者)について、急に容体が変わったときの対応や連絡先を決めている	1	2	3	4	5

在宅医療・介護連携推進事業調査【在宅療養支援歯科診療所 -施設票-】
管理者の方がご回答下さい

福井小紀子(大阪大学) 在宅医療介護従事者における顔の見える関係評価尺度の適切性の検討. 日本在宅医学会誌. 16(1). 5-11.2014.

問1. 貴施設の基本情報についてお伺いします。

右の職種別職員数 【数値を記入】	歯科衛生士	常勤 _____人	非常勤 _____人
貴施設が在宅療養支援 歯科診療所の届出をされた理由 【該当の数字全てに】	1 診療報酬の制度ができる前から進んで在宅歯科医療に取り組んできた 2 患者に訪問歯科診療を要する者がいた 3 患者から訪問歯科診療を望まれた 4 今後、在宅歯科医療の一層の強化が必要となると考えた 5 訪問診療を行うにあたり診療報酬上有利であると考えた 6 今後の在宅医療の取り組みに備えて予め届出をした 7 その他()		

問2. 在宅医療の提供実績についてお伺いします。

平成30年1月の1ヶ月間の実績 【数値を記入】	訪問歯科診療及び往診を実施した実人数	_____人
いずれも加算算定に 関わらず記入	歯科医師による居宅療養管理指導を算定した人数	_____人
0人の場合は0を記入	歯科衛生士による居宅療養管理指導を算定した人数	_____人

問3. 在宅医療の推進についてお伺いします。

(1) 貴施設は、**地域の在宅医療の推進** に対して、どのくらい貢献できていると思いますか。

【地域全体を想定してあてはまると思われるもの1つに】	1.貢献 できている	2.やや貢献 できている	3.あまり貢献 できていない	4.貢献 できていない
	1	2	3	4

(2) 在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えることについてお伺いします。

【必要性の高いものから順に3つまで】	1 関係機関のリスト・連絡先等の提供 2 現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場 3 連携で困ったときに相談できる窓口 4 各施設・職種の役割について理解を深める機会 5 介護側のための医療知識の習得・向上の機会 6 医療側のための介護知識の習得・向上の機会 7 情報共有ツール(シート等)の統一 8 在宅医療にかかる負担の軽減(主治医・副主治医の導入など) 9 在宅医療にかかる施設基準の緩和 10 診療報酬・介護報酬の評価(増額) 11 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発 12 その他() 13 特になし
--------------------	--

在宅医療・介護連携推進事業調査【在宅療養支援歯科診療所 -施設票-】
管理者の方がご回答下さい

(3)地域の在宅医療の推進への今後の意向についてお伺いします。

在宅医療の取り組みに関する今後の意向 【1つに】	1 現在の取り組みを当面維持していきたい
	2 現在より充実していきたい
	3 現在より縮小していきたい
	4 現在は取り組んでおらず今後も予定はない
	5 その他()

問4.在宅医療の提供状況及び連携状況等についてお伺いします。

(1)貴施設における退院前カンファレンスなどの状況について。

	（これまで要請されたことがある）			（これまで要請されたことがない）		
	1.基本的に出席している	2.ケースによっては出席している	3.出席は困難である	4.要請されれば基本的に出席したい	5.要請されればケースによっては出席したい	6.要請されても出席は困難である
病院からの退院前カンファレンスへの出席要請有無（退院予定の患者が在宅での療養に在宅サービスを利用する必要がある場合に開催するもの）【1つに】	1	2	3	4	5	6
ケアマネジャーからのサービス担当者会議への出席要請有無及び対応【1つに】	1	2	3	4	5	6
市や医師会等開催の在宅医療・介護の多職種の研修会等への参加の有無【1つに】	1 参加したことがある (回数もご回答下さい)			a. 1～5回 b. 6～9回 c. 10回以上		
平成29年1月～12月の1年間	2 参加したことはないが、これまで参加を検討したことはある			3 参加したことはない・知らない		

(2)貴施設は、地域の他職種・他機関と、**全般的に**、どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。

【地域全体を想定してあてはまると思われるもの1つに】	1.連携できている	2.やや連携できている	3.あまり連携できていない	4.連携できていない
	1	2	3	4

(3)貴施設は、地域の他職種・他機関と、**それぞれ**、どのくらい連携(連絡、相談、調整、意見交換、情報共有等)できていると思いますか。

【地域全体を想定してあてはまると思われるもの1つに】	1.連携できている	2.やや連携できている	3.あまり連携できていない	4.連携できていない
病院の医師・看護師	1	2	3	4
病院の地域連携室	1	2	3	4
診療所・医師	1	2	3	4
他の訪問歯科診療所・歯科医師	1	2	3	4
保険薬局・薬剤師	1	2	3	4
看護事業所・訪問看護師	1	2	3	4
居宅介護支援事業所・ケアマネジャー	1	2	3	4
訪問介護事業所・ヘルパー	1	2	3	4

在宅医療・介護連携推進事業調査【在宅療養支援歯科診療所 -施設票-】
管理者の方がご回答下さい

(4)貴施設は、患者の在宅療養における各場面において、地域の他職種・他機関とのどのくらい各種情報についての意見交換・共有ができていますか。

【地域全体を想定してあてはまると思われるもの1つに】	1.共有等できている	2.やや共有等できている	3.あまり共有等できていない	4.共有等できていない
入院時における入院患者の情報	1	2	3	4
退院時における退院患者の情報	1	2	3	4
日常生活(在宅)療養時の患者の医療情報	1	2	3	4
日常生活(在宅)療養時の患者の生活情報	1	2	3	4
患者の緊急時の対応方針	1	2	3	4
看取りについての対応方針	1	2	3	4

問5.大阪市「在宅医療・介護連携相談支援室」についてお伺いします。

連携相談支援室についての認知と利用実績 【1つに】	1 知っており、実際に相談・連携をしたことがある
	2 知っているが、実際に相談・連携をしたことはない
	3 知らなかったが、今後は相談・連携したいと思う
	4 知らなかったし、今後も相談・連携はしないと思う

大阪市では、各区に地区医師会等への委託により、医療・介護関係者からの相談等に応じるため、在宅医療・介護連携支援コーディネーターを配置した「在宅医療・介護連携相談支援室」を設置しています。
 (詳細については同封のチラシをご覧ください)

問6.大阪市の在宅医療・介護の連携上の課題や推進に関するご意見がありましたらご記入頂きますようお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。